

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズベースシーズ		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年1月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年1月7日 ～ 2025年1月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己決定ができ、自立を促すことにつなげていくスケジュールの実施	登園後すぐの自由時間（すっきりタイム）内で、宿題、自由遊び、おやつ順番をお子さまに決めてもらい、自分で組み立てて取り組めたという経験を持っていてもらえるようにしています。	自己決定をする機会を増やしていき「自分で決めて取り組めた」という経験を様々な場面で積んでいてもらえるようにしていきたいと思います。
2	視覚支援(ピジョントレーニング)の充実	・日々のスケジュールや時間、活動の手順等を視覚化し、自分で確認して次の行動に移ることができるようにしています。 ・気持ちの指標を用い、その日の気持ちを視覚的に見て表出できるようにしています。	引き続き行っていき、お子さま個々に合ったよりよい視覚支援をおこなっていけるように、職員間でも話し合いを重ねていきたいと思います。
3	大学の先生による勉強会や研修等の実施	定期的に大学の先生にお越しいただき、発達に関する勉強会、お子さまへの対応の仕方のアドバイス、虐待防止、身体拘束適正化他、研修をしていただいています。	保護者の方への周知をおこなっていけたらと思っています。先生に保護者の方が直接、相談等をできる機会等を設けていきたいと思います。
4	グループ事業所のシーズ今津（就労移行支援・就労継続支援B型）との連携	夏休み等の長期休暇にシーズ今津でクッキー作り体験や販売の体験を実施させてもらっています。	中学生、高校生の利用者さんが事業所で仕事をする体験の機会等も設けていけたらと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供	保護者からの相談に対してはキッズベースでおこなっている支援を口頭でお伝えしたり、実際に使っているツール等を見ていただくこともありますが、保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていません。	保護者会の開催から始めていき、保護者向けの研修等にもつなげていきたいと思います。また、発達障がい支援センター等で行われているペアレントトレーニング等も積極的に情報提供していきます。
2	他事業所等との連携	お子さまが利用している併行利用事業所等との連携があまりとれていない部分があります。	連絡等をこまめにおこない情報共有を図ったり、事業所同士でお子さまが交流できるような機会を設けていけたらと思います。
3	避難訓練の周知	避難訓練に関しての周知や訓練後の報告等がきちんと保護者にできていない部分があります。	・お便りで事前に周知。訓練後は口頭、または公式LINE等で訓練の報告をおこないます。